

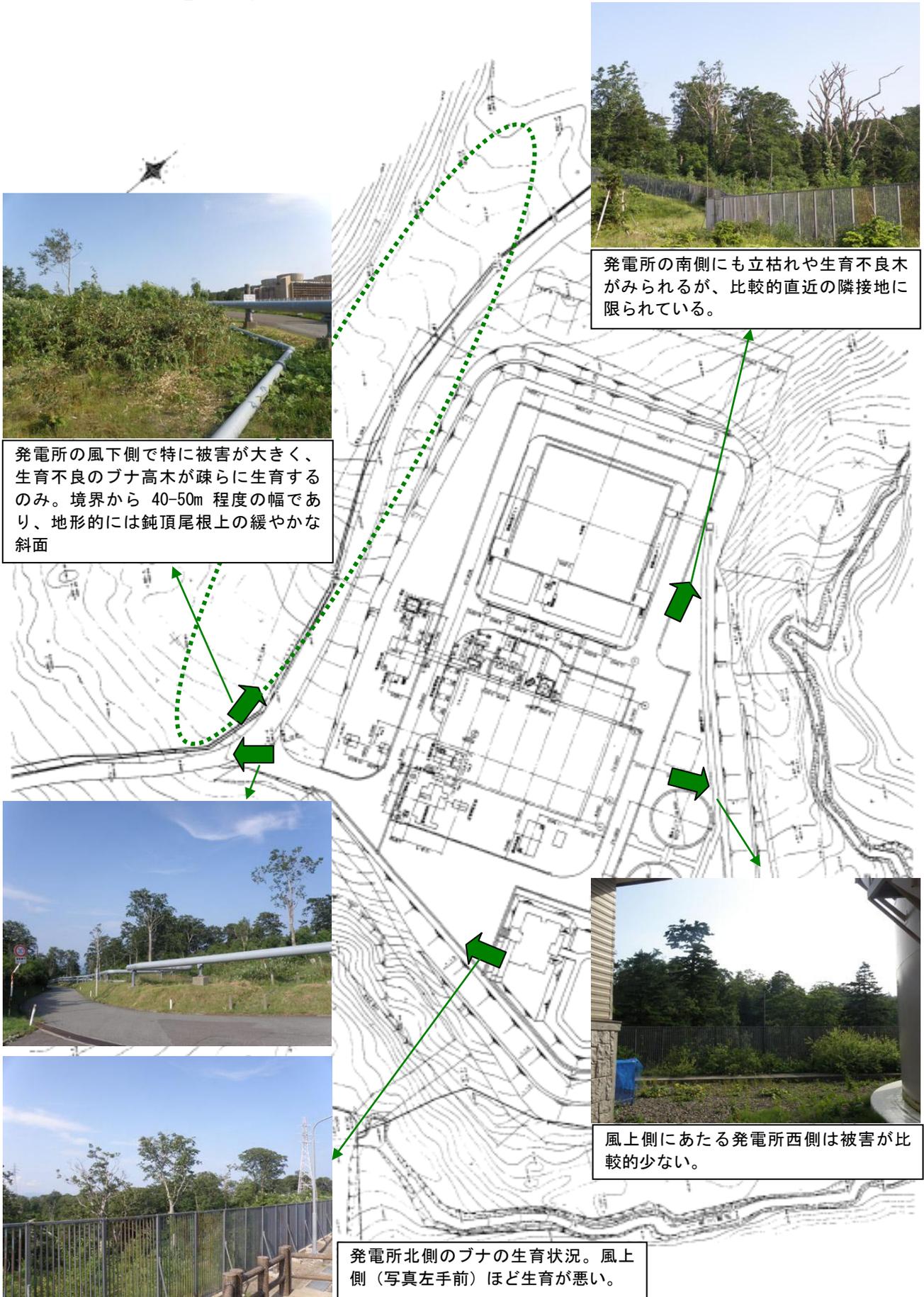
国内現地調査の結果（得られた情報等）

<本資料の内容>

- ①周辺植生に関する調査結果
- ②簡易騒音測定結果
- ③景観調査結果

①周辺植生に関する調査結果

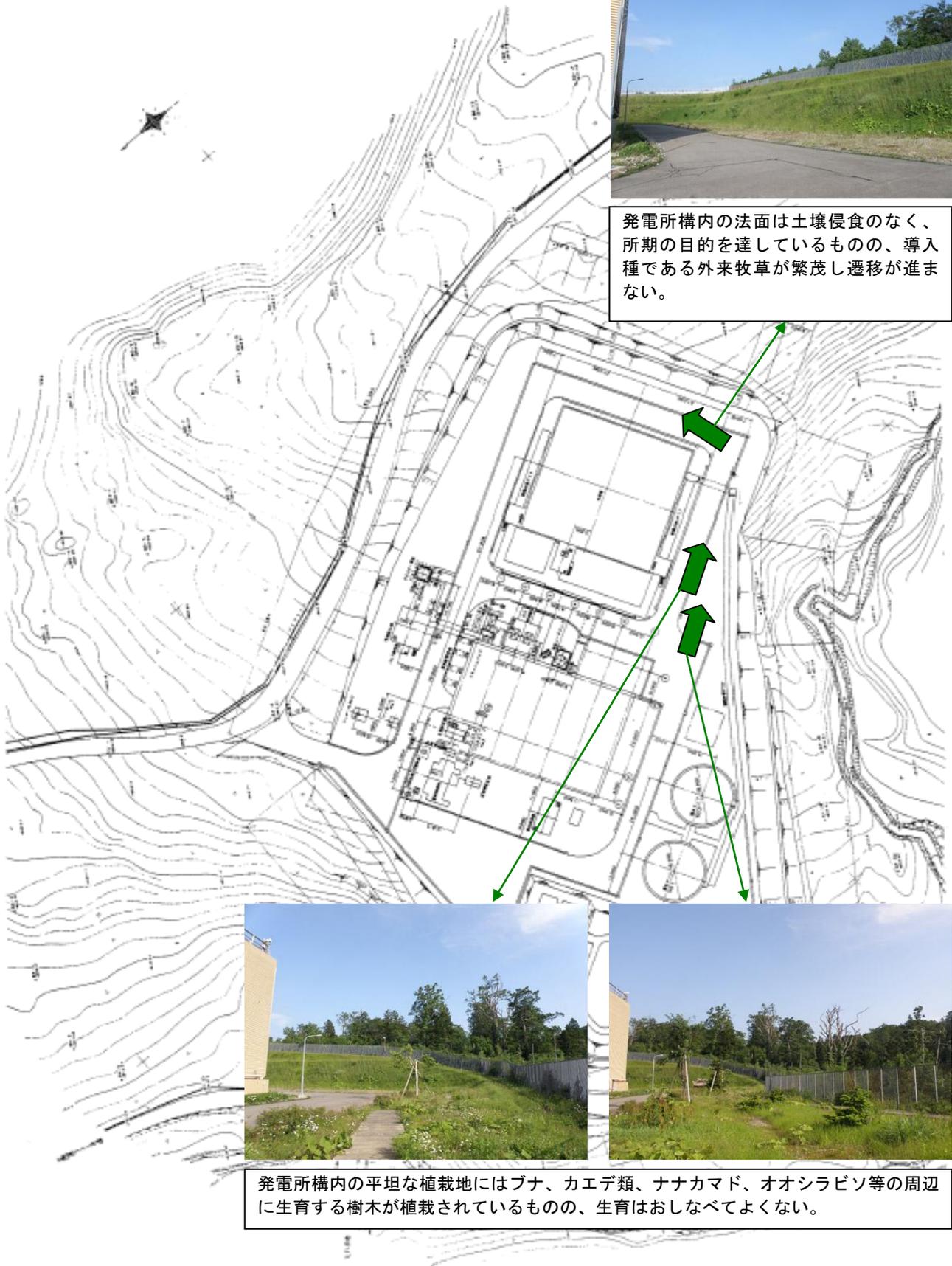
■澄川地熱発電所・周辺の植生状況



■ 澄川地熱発電所・構内の植栽状況



発電所構内の法面は土壌侵食のなく、所期の目的を達しているものの、導入種である外来牧草が繁茂し遷移が進まない。



発電所構内の平坦な植栽地にはブナ、カエデ類、ナナカマド、オオシラビソ等の周辺に生育する樹木が植栽されているものの、生育はおしなべてよくない。

■大沼地熱発電所・周辺の植生状況



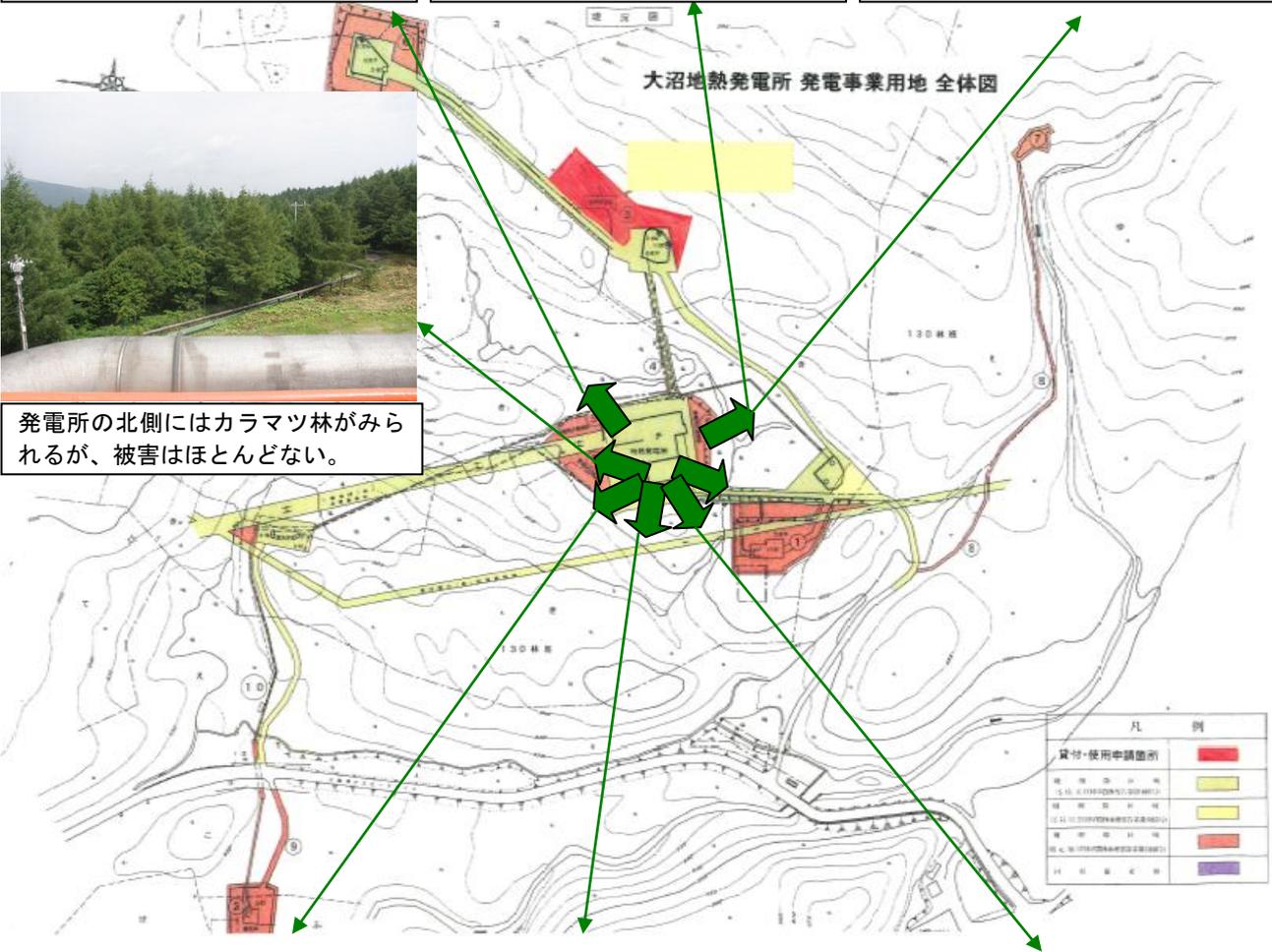
発電所北東の谷奥の低平地にはヨシ群落広がっている。



発電所の南から東に隣接して沼沢地がみられ、ヨシ等が生育する。



生産井 (0-10R) の南から西にはブナ林がみられる。被害はみられない。



発電所の北側にはカラマツ林がみられるが、被害はほとんどない。



発電所の北西側に隣接するカラマツ林には被害はほとんどみられない。



発電所の西側に隣接するカラマツ林には被害はほとんどみられない。



発電所の南西側に隣接するカラマツ林の林縁が風の影響でやや荒廃。

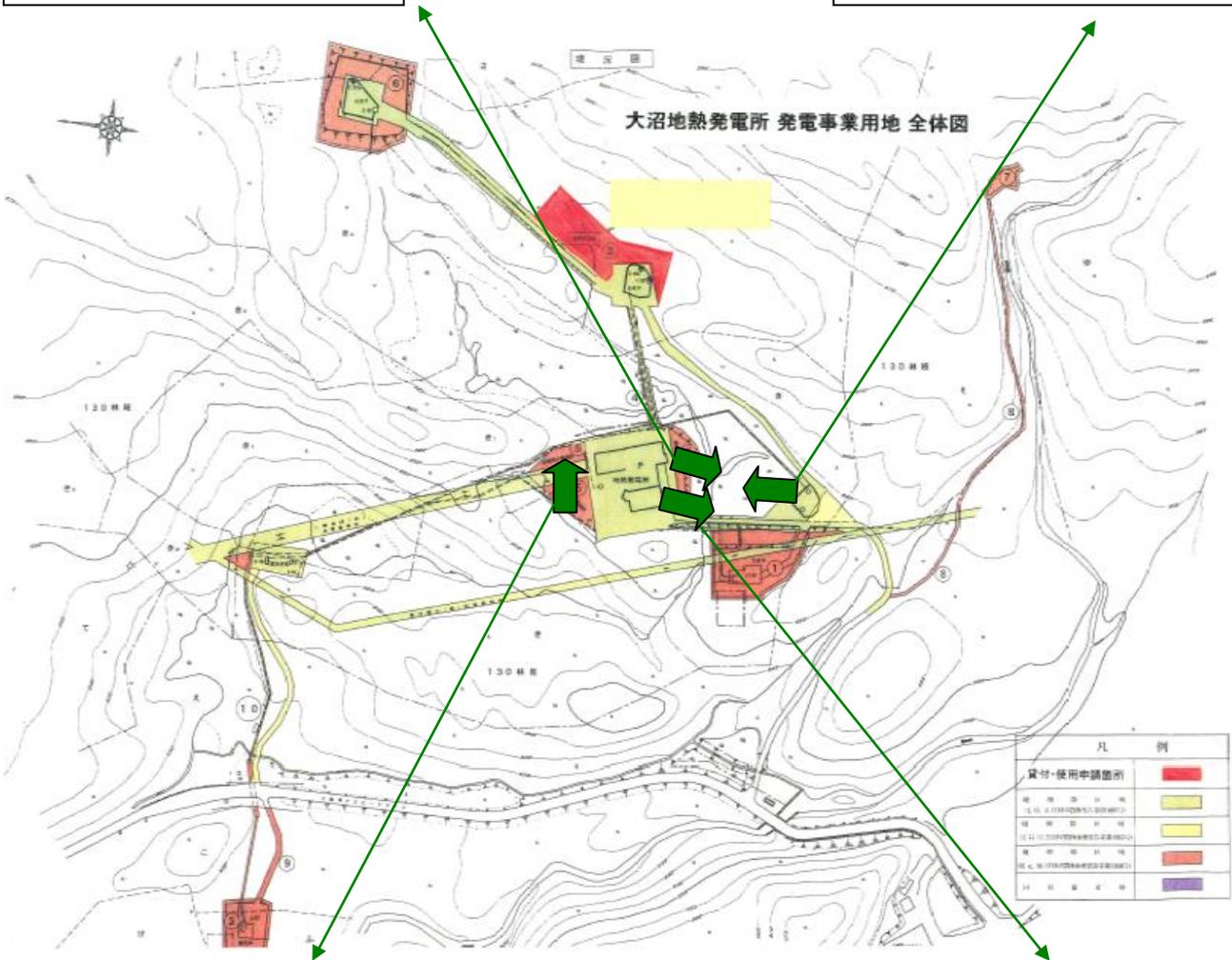
■大沼地熱発電所・構内の植栽状況



発電所南側には植栽地がみられる。ブナ、ハウチワカエデ、ナナカマド、キタゴヨウ、カラマツなど。



発電所南側の沼沢地の池内にはヨシ、水際にはオノエヤナギ等のヤナギ類がみられる。



発電所北側の空地には路傍雑草群落がみられる。植栽はなされていない。



発電所の入口から右手には沼沢地を中心にビオトープ的な空間が形成されている。(人為的に創出したものではない)